

# 第9回崇城大学ビジネスプランコンテスト 令和5年度熊本県オープンビジネスコンペティション 優勝/県知事賞 受賞！



図1 崇城大学ビジネスプランコンテスト表彰式の様子

12月9日(土)に実施された第9回崇城大学ビジネスプランコンテスト、令和5年度熊本県オープンビジネスコンペティションに自然科学部が参加しました。応募総数156チームのファイナリスト9本に選出され、優勝(副賞50

万獲得)と熊本県知事賞を受賞しました。ビジネスプランの題名は「元素対戦」です。同大会で高校生が優勝するのは初の快挙となり、またNICT賞も同時受賞しました。この副賞として起業家甲子園挑戦権と2月にアメリカの

シリコンバレーで行われるブートキャンプが贈られました。3月13日に行われる起業家甲子園では、全国から選出された高専生や大学生等の12チームと共に、総務大臣賞を目指して発表実施予定です。

## 熊本北高校SSH研究開発の成果普及 KSCにて共創ワークショップ 実施

11月29日(水)に熊本県サイエンスコンソーシアム(KSC)担当者交流会が実施されました。今回は、「科学技術人材育成のためのマクロルーブリックの作成を目指して」をテーマに、まずは熊本北高校の運営指導委員で熊本大学准教授の川越明日香氏によるルーブリックに関する講演会を実施しました。

その後、本校職員がファシリテーターとして立ち、これまで熊本北高校で実施してきたマクロルーブリック作成プロセ

スを参考にしたワークショップを実施しました。

参加者の満足度はやや満足、満足合わせて100%になりました。  
【参加者の声から抜粋】  
○熊本県全体で科学的な人材育成を目線合わせる、言語化する事はとても重要だと思いました。  
○多くの学校が悩んでいる評価についてのワークショップだったので、とても参考になりました。

○理科・数学以外の教科担当の先生方もご参加いただけていたのが良かった。



図2 KSC担当者交流会における共創ワークショップの様子

## KSCスーパールーブリック作成に向けて

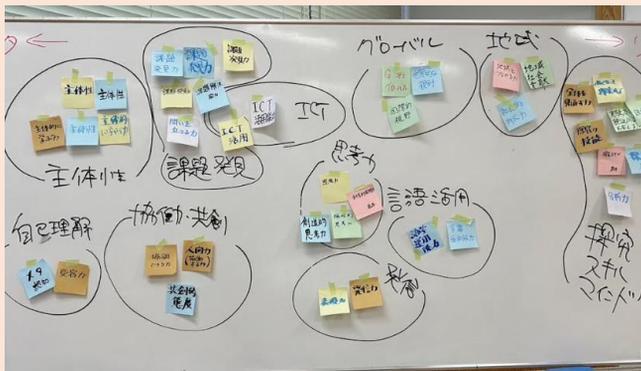


図3 会場全体の成果物

ワークショップでは、各校のスクールポリシーやルーブリックから、目指す生徒像の要素を抽出しました。その後、グループ内で共有し、共通する要素が多いものから順にカテゴリー分けをしていきました。最後には、会場全体の共通点をメタKJ法で抽出しました。高大接続も見据え、KSC全体を包括するスーパールーブリック作成に向けて、今後も支援を行っていきます。